

わがまちの老舗

5月20日は97回目の那覇市制施行記念日です。記念すべきこの日にあたって、長い年月を那覇市とともに歩んできた2つの老舗をご紹介します。(取材／秘書広報課)

「装具のことで困っている人の相談窓口になりたい」。そう真剣な眼差しで話すのは赤田晋一さん(35)。赤田義肢製作所で義肢装具士として働いている。

義肢装具士への道



1949年創業
赤田義肢製作所

泉崎2丁目103番20号
☎832・8413

オンリーワンの靴屋

戦前から続く大田製靴店に入ると、年季の入った米国製の大型ミシンなどの機械類と陳列棚に並べられた革靴がすぐ目に飛び込んでくる。革の匂いが漂う店内



1929年創業
大田製靴店

松尾2丁目2番28号
☎866・6453

で靴作りに励んでいるのは三代目の大田守誠さん(33)だ。

大田さんはもともと父親の後を継ぐ気はなかったという。実際、この仕事に就く前は県内で全く違うことをしていた。しかし、「自分が継がなければこれらの機械はどうなるのか。もったいない」と強く感じ、靴屋の店主になることを決意した。

とは言うものの、市販品がいくらでも手に入る時代。靴のオーダーメイドでは生き残っていけないことは感じていた。沖縄でオンリーワンの靴屋になるにはどうしたら良いか。大田さんは整形靴を学ぶために県外の学校へと進んだ。

靴で足を守る

整形靴とは、足に障がいがある人のために、その足の形状や症状に合わせて作られた靴だ。第二次世界大戦の負傷者に対する治療やリハビリに対応するために発展した。1973年にはヨーロッパ諸国を中心に国際整形靴技術者連盟が設立

され、現在日本も加盟している。

ただ実際、現状は整形靴やオーダーメイドというより、靴の持ち込みによる修理依頼が多い。靴底部分がボロボロになって通常なら捨てるような場合でも、「これは形見の靴だから直してほしい」と、大田さんのお店に駆け込んで来る。

現在の課題は整形靴の認知度の低さ。いくら重要な分野でもその存在が知られなければ始まらない。大田さんは、市内の赤田義肢製作所とタイアップすることで、必要な人に整形靴を届けようと考えている。

「足に障がいなどを負った時、医者による治療もあるが、靴で守られる足もある」。大田さんは熱くそう語る。そして、歩きたくなる靴を作りたい。全ては靴で人生これだけ変わるといふことを伝えるために。



義肢装具士とは、手足を失った人、怪我や病気で思うように動かせない人のために、義手や義足などの義肢、体の機能を補助する装具を作る職人のことで、国家資格をもつ医療専門職でもある。

赤田義肢製作所は、戦後間もない頃、自身も事故で片足を失い、義足を使用していた赤田さんの祖父によって設立された。「身体障害者の社会復帰に貢献する」という社訓を掲げ、義足やコルセット、変形した手足のための装具などを製作している。現在は父親が社長を勤め、赤田さんは三代目にあたる。

元々家業を継ぐつもりはなかった。しかし、進路に迷っていたある時、祖父から何気なく「いつからうちで働くんだ」と聞かれ、義肢装具士の道を選んだ。祖父の期待が嬉しかった。「心えたいと思っただけです。おじいちゃんっ子だったんで」と赤田さんは照れ笑う。

社訓の継承

現在は義肢や装具を製作しながら、学

会やセミナー、子ども向けのキャリア教育イベントなど様々な場所での活動にも力を入れている。義肢や装具を作っている製作所があることを多くの人に知ってもらいたいと意気込む。

義肢、装具は長く使っていると壊れたり、使用者の体型の変化でサイズが合わなくなったりすることがある。しかし、修理できることを知らず、合わないまま無理に使い続け、体に悪影響を及ぼす人も多い。そうした人々が気軽に相談できる窓口になりたいと話す。

「装具が、使用する人の笑顔の数を増やす手助けになれば、こんなに嬉しいことはない」と、瞳を輝かせて赤田さんは語る。その言葉には、創業者である祖父が掲げた「身体障害者の社会復帰に貢献する」という社訓がしっかりと受け継がれている。



教えてください

はいさい。広報担当やいびーん。今月号は市内の代々続くお店を取材しました。私たち広報担当は、市と歴史をともにしてきた老舗を今後も取材していきたいと思っています。

そこで、市内で現在も営業を続けている、概ね設立70年以上の老舗を教えてください。

「うちの店はそうだ」「あの店はそうだはず」といった声をお待ちしています。

秘書広報課 広報グループ

〒900-8585
那覇市泉崎1丁目1番1号
☎862・9942
869・8190
FAX ☎862・9942
s-s-hisyo001@city.naha.lg.jp

那覇市の発展とともに

本市は5月20日に市制施行97周年を迎えます。大正、昭和、平成と、先人達は時代の荒波を不断の努力で乗り越え、現在の那覇市の発展を築いてきました。



また、97年の本市の歩みとともに暖簾を継承してこられた老舗の事業所が市内には数多くあります。それぞれの伝統と技術を守り、脈々とその風格を築いてこられたことに深く敬意を表します。本市も、先人の想いを紡ぎ、「那覇の伝統と風格」を守っていききたい。そして市民の皆様とともに「県都・那覇市」として、さらなる高みを目指してまいりたいと思います。ゆたさるぐとう うにげーさびら。

那覇市長 城間 幹子

主な紙面

- わがまちの老舗……………1
- 那覇市制施行97周年記念式典／新教育長あいさつ ……2
- 平成30年度なはしの予算／狂犬病予防注射／その他 ……3
- 情報パック……………4～7
- 博物館トピックス／ニュースダイジェスト……………8

総人口 322,073人(4,081人)

男:156,008人(2,189人)／女:166,065人(1,892人)

世帯数 150,576世帯(2,728世帯)

※()内はうち外国人
※総人口と世帯数は2018(平成30)年3月末現在

Facebook



LINE



YouTube



Instagram



防災 Twitter



マチイロ

